

昭和三十一年一月三十日招集  
第一面市議會臨時會々議錄



昭和三十七年度館山市議会第一回臨時会々議録

昭和三十七年一月招集

十一月三十日(火曜日)

一 現在議員三四名より、改定次へ通り、

一	番	山本 早	二	番	石井 孝
三	番	三又 節	四	番	小林 寅之助
五	番	江田 徳太郎	六	番	鈴木 彦太郎
九	番	吉田 勇治郎	一〇	番	佐野 信
一一	番	川名 房吉	一二	番	鴻 貫 杜作
一三	番	安次 徳順	一四	番	法 木 嗣郎
一五	番	鴻 田 繁	一六	番	遠山 ヨネ子
一七	番	志村 信作	一八	番	安西 政治
一九	番	田中 忠藏	二〇	番	北山 茂雄
二一	番	後藤 ゆき	二二	番	田中 禄郎



二三番 吉田辰雄 二四番 飯田義男

二五番 脇田順一 二六番 岩崎静敬

二七番 鈴木市藏 二八番 加藤良太郎

二九番 荻生田七郎 三〇番 長谷川光江

三一番 田村喜兵衛 三二番 鈴木孝

三三番 山口幸三 三四番 松本藤太郎

三五番 黒川佐太郎 三六番 山口康

一議事日程

第一議案第一号 館山市休養施設増築工事情員契約の締結について

第二議案第二号 館山市衛生処理場新設工事請負契約の締結について

第三 館山市選挙管理委員同補充員の選挙について

第四 臨時出納検査主合議員の互選について

一、法第百二十一条による出席説明員

市長 田村利男



勸 役 小 出 武 男

収 入 役 完 戸 貴

総 務 課 長 山 口 実

厚生 課 長 伊 藤 幸 太 郎

商 工 水 考 課 長 羽 山 房 雄

農 業 院 計 課 長 代 理 山 口 太 一

一 本 議 会 の 事 務 局 長 書 記 及 以 下 取 員

事 務 局 長 高 梨 清 一

書 記 今 田 博 雄

同 兵 藤 恭 一

取 員 山 口 晴 三

一 出 席 議 員 三 一 名

一 欠 席 議 員 三 名

二 委 員 石 井 孝 一 一 委 川 名 房 吉



二五番 脇田 順一

午後二時一五分開會

議長(過貫水作君)本日のお席議員数三〇名 くれより昭和三十  
七年お第一回市議会臨時会下開会いります。  
本臨時会、議案説明のため田村市長、小島助役、寛之  
敏、入込山、榑長、伊藤藤、榑長、羽山、榑長、山口主事、以  
上のお席下おめします。こので報告いります。

会議録署名員、決定下行います。本臨時会、会議  
録署名員、一〇番議員佐野、信君、ニ〇番議員、比  
山、及、榑君、以上、お席下指名いります。くれより脚、  
議、おめします。

(一) 議長「ア」と呼ぶ者あり



議長（通貫水作君）御稟議了と認めます

よ、て決します

会期、決定して行います 本臨時会の会期はつぎつぎとして議令宣旨協議会の意見は本日一日というところであり  
ます

おはよりいります 会期は本日一日と定めますことに  
御稟議のいまませんか

（稟議は了と呼び着あり）

議長（通貫水作君）稟議了と認めます

よ、て会期は一日と決します

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います  
暫時休憩いたします

午後二時ニハ会休憩



午後三時十分開

議長嶋貫壮作君休憩前より続々会議下向ります  
これより市長の説明下求めます

(市長田村利男君登壇)

市長(田村利男君)昭和三十七年の新春下迎之まして、  
は第一回臨時市議会に招請いたして、はとろ議  
員各位には御多忙のみより御出席下さいとあり  
がとう有います。

本日は昭和三十七年度に於ける本市の期待事業  
である衛生処理場改建設工事と徳山荘増築工事  
の請負契約について御審議をお願いするわけだ  
と存じます。が、徳山荘の増築計画につきましては  
起債の決定を以て難航いたして、最近に至







いづれも五千八百五十万円も、一日処理能力ニ五〇石の消槽一式ヲ守佐土木工業株式会社と契約しようとするものでござります。

以エのニ議案でありますが、これは二件とも条例の定に従いまして特別議決下必要とする、すなわち出席議員数の三分の二下必要とするものであります。ようしく慎重御審議の上御可決下さい。お願いする次第でございます。

議長(惣貫北作君) 日祥第一議案第一号ト上程いづれも  
(書 記 朗 読)

議案第一号 錦山市休養施設増築工事請願契約の締結について  
商工考察課長(羽山彦雄君) 議案第一号について御説明申します。本工事について、去々一月八日に市内の七業者ト指名いづれも、これより最低の計工費店



と請負契約で締結したいと思うものであります

坪数 単価 七万百十 二月に及びます よろしく御審  
議のほど下を願ひいたします

○七番 志村信作君 この休養施設に付ますて設備の室の  
大々々 数下を尋ねします

○商工水産課長(羽山彦雄君) お答いたします

一階、客室は二畳、一階、八畳三間、六畳二間、二階は一  
畳、八畳三間、合計一三室でございます

○七番 志村信作君 これに週去一ヶ月におます経験によ  
て大広間よりもこういう小さな室が有効に利用される  
という意味はどうかという室にしたいのですが、

○商工水産課長(羽山彦雄君) お説の通りでございます 大広間  
よりもむしろ必要でございますので今度増築いたします  
てもあり大広間は有知に使用したい とう考とてあります



議長鴻貫壯作君 議案第一号 討論省署採決いづうすに御  
望み議ひふいませんか、

(望み議ひふいませんかと呼ぶ者あり)

議長鴻貫壯作君 御望み議ひふいと認めます。

よつてこれより採決いづうす。

本案に對する採決は本市契約条例第六条の項定により  
特別多数議決で市席議員の三分二以上、議決であり  
ます。本案に對し賛成の諸君の起立を求めます。

(起立 総員)

議長(鴻貫壯作君) 起立満場 よつて本案は原案通り  
可決されうす。

議長(鴻貫壯作君) 日程第一号 議案第一号 下工程いづうす。

(書記 朗読)



議案第三号 館山市衛生処理場新設工事請願契約の締結

について

厚生課長(伊藤幸太郎君)議案第三号につきまして御説明申  
し上げます

本案は工事の特殊性にかんがみまして適当な業者  
を選定いたしましてその業者と随意契約により  
ます処理場新設工事を行うというわけでございます  
この処理場の工事の内容でございますが御承知の通り  
特殊な技術という点がございますので競争  
入札等の関係はございまして一業者と随意契約に  
よって締結いたすというわけでございます

選定の経過につきましては対策委員会等にも  
お諮りいたしまして御審議の工すつて御  
答申下さいたいと思つて市側とい



ろーろーと校計下加えろーの結果答申通りミ、に盛ら  
れております。 守佐工業と締結いろーべいというわけを  
おさいます。 金の額もいろーく折衝の結果五千八百  
五十万円というミとで隨意契約の締結下いろーべいとい  
うわけでございます。 よろしく御審議願います。

ニ々番(高村信作君)ニ々年六千万円の手算下計としたの  
でございまして、お坂には七千万円とあります。 この差  
一千万あります。 金の間の事情で御説明願います。

○厚生課長伊藤幸太郎君)ニ々今ニ号議案で御審議いべ  
ます。 契約金額でございます。 べいはいわゆる本工事  
と申します。 国庫補助の対象事業のみでございまして、  
そのほか、国庫補助対象外の事業といろーろーて例え  
ば事務室の建設とか車庫の建設とかいろーく対象外  
の事業がございまして、こので本工事、国庫対象事業と



して、に申しエグります。五千八百五十万円で締結いたす  
まい。その外に今申しエグります。それには付帯いたす  
ところの對象外事業に約八百万程度今後お願いいたす  
定むじまいます。けれども本議案に付きます。これは本工事  
のみについて、契約をお願いいたすというものでござい  
ます。

○七番(志村信作君) この工事で衛生処理場から生じへ水で  
耕地に灌漑用水として使うということになり、あります。  
人体への問題は衛生処理場のござることで、その排水下  
も、工部の耕地に灌漑するということ、二つの重要  
な問題であると思います。農政方面から申しますと  
率直に申し上げるならば、関係の農氏が農作業に天  
障の多い装置で耕地にてもういて、こう思います。  
また、これが最も適切な農政の問題であると思います。



この施設に對しての御説明がよい。またこの予算はわが  
りませんが、これについて、質問したい。――

厚生課長伊藤幸太郎君 御質問の点でございますが、畑地灌  
溉の費用は、つまり――これは目下農産統計課におきま  
して、具体的に設計準備をしつゝ、ございまして、予算等の  
関係はおそらく三十七年度の当初予算におきまして、あは  
かりする予定になつてゐるわけでございます。

○七番(志村信作君) ニ〇〇〇石の水下一町歩の耕地に灌漑用水  
に使用します。相模乗当りでは一反について四〇石の水  
がいまいける。そうするとニ〇〇〇石の水下一町歩に灌  
漑用水に使いますと一反歩についてニ〇石半分位足り  
ない。もし足りない場合には、この水はほかから、他の  
水でも、この全区域に灌漑用水としていまいけるであ  
らうか。またこの処理場からの水であり、あつて全区域に



灌溉がでまなくてもいいものであるか　市々考之下所聞  
しんい、

議長鴻貫壮作君一々番議員に御注意申しエザますが畑地  
灌溉のことにはどうもすうと議題外ということにはどうもすうが  
一々番(志村彦作君)このお説でどうもすうても排水下も、ま  
いく場所も私の考えといろいろすうまは同時に審議して  
いへるまい、ミウ思います、でいとい作業がどうもい、  
肉連寅向とすうて……

議長鴻貫壮作君肉連寅向といつてもちよつと議題外と  
いつことにはどうもいはいかと思つております、  
休憩いれろすう

午後三時三十分休憩

午後三時三十分再開



議長(鳩貫作君)會議下角開いまして

一七番(志村信作君)今議長のお言葉もありましてハレしました  
問題が大変混雑いましてすうで他日眞向さまでいへる  
ます

二四番(飯田義男君)本問題に對して豊議下も、といふものでは  
はいでございましてすけれども約六千万に及ん／＼とする  
契約でございまして市民全部のオカが相当衛生を理  
場の問題については肉心下も、とおろと思ひます

ハ、い、主管課長の説明によりますと隨意契約は特  
別な理由によりましてしたつば、こ、う、い、う、説明でござい  
ますが大体協議会において了解いまして隨意契約下せられる  
本會議において要約いまして隨意契約下せられる  
下得なかつた理由下御説明願ひたいと思ひます

厚生課長伊藤幸太郎君お答へ申しをります



御承知の通り、この工事そのものがいらく技術的な  
面で各会社とのミステイクと申しますか、それぐの特微  
でも、あるわけではあります。で、私どもの方とい  
ろいろでは、この会社のいわゆるやり方というものが  
一番い、どううかという点と、つまずいてもらう現場の  
視察もいろいろして、また説明等もいろいろ、圃  
々として、また既設の処理場の市におきまして、いろいろ  
いろ、意見も徴して、また総合的に研究の結果、ミ、に盛  
られて、ますます守庄工業のもの、が最適のもの、じゃなかろ  
うか、という結論に至る、わけではあります。  
それ、もう競争入札にしないか、理由でございます。それ  
ども、今申しますように、理由、ほかにも、また各会社のそれ  
ぞれ、<sup>特</sup>徴のある競争入札に、け、場合、に今申しあげよう  
て、ように、最後は、そのよう、な見当にならざる、下得ず、いと



いうことも考へられまして、で一会社の選定に慎重下期  
 への結果守備との契約下という結論に達し  
 てわけござります。

ニ七番(鈴木市蔵君)主管課長に伺つてみたいと思ひます。  
 衛生処理場の請負契約は疑義はござりますせん、

それと、今迄のもの、決定してはあつた

メーカー当りの話、下聞いてみると現在日本ではこれ  
 についてはずいぶんいろいろ結構であるというよう

なタイコ判、おすようなものは一つもござらない

それについてメーカーがどの位までの責任をもつて作  
 り出すするか、それについての契約、いろいろあるかと

議決してから契約すると思ひますが、その気があるかないか、

。厚生課長(伊藤幸太郎君)へいろいろ御質問でござりますか、

現在行われております方式、それへう処理の方法、それ



に伴います機械装置の面でこれならもう絶対大丈夫  
であらうはこれ以上の法はないのだというふうなことは  
やはり今後将来いふ科学の進歩の点からいふと  
まして申し述べたの如きと思ひます、まして現状に於てま  
てはそれごとく会社とも研究陣ともらまして相當の研究を  
進めておられます隙でありまして現状で一応考へられる線  
としては最良の施設じゃなかつたかといふことと下りぬ  
は考へたわけでございます、すなはち日進月歩の進歩と  
けておられるのではないです、うで今年といふ方法が来  
るよりも一々場合には一段落ちるやうな面もあるかと思  
ひます、今御質問の点は完成までの間にさうい  
ふ問題が起るに場合に新しい方法で工事を進めら  
せられようかというやうな質問じゃないかと思ひます  
が、さういふにつきます、それは本契約の際にいろいろ会社



とも節一合い下いりてでるだけ最善の法  
による工事の執行下お願いするといふふうを考へてあり  
ます。

。二四番（飯田義男君）はもう一つお伺いしたいと思ひます  
がそれは市役所の建設トールとアークヤリコンクリ  
ートのは事でありまして過去において若干の故障が  
あつたわけで衛生や理傷の建設完了後におきますので  
そういう事態が起るべくとまりアフターサービスと申します  
か修理と申しますかそういう問題に対する契約はどの  
ような状態になつておりますか、参考までにお伺ひしたい  
と思ひます。

。厚生課長伊藤幸太郎君は完成後のサービスの面がどういたすか  
これは現在各市とも約二、三乃至三、四年の間状況下交  
換一合してゆく、面をやつておるわけをどういふます。



でありますので本市におきまして、もしそういう場合、今は十分会社とも話し合ひまして、できるところのアフターサービスの内容、面下会社にと、てもう、そういう最善の方法、下請けて参りたいと思つて下ります。

二四番飯田義男君曰、それはできるところ、それで、もううというところ、で、よく契約のところは、きつと、それ、これは、もう、う、という結束、下、と、あ、れ、へ、お、び、よ、う、い、か、と思ひます。そのようにお願いいたします。

議長(鴻貫壯作君)議案第ニ号討論省署採決、い、う、う、す、に、御異議ある、い、う、せん、か。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鴻貫壯作君)異議なしと認めます。

よ、う、う、れ、う、採、決、い、う、う、す。

本案に対する採決は本市契約条例第六条の規定によ



の特別議決であります。よつてお席議員の三分の二以上は  
議決であります。本案に対する賛成の諸君の起立を求め  
ます。

(起立議員)

議長(鴻貫水作君)満場一致原案通り可決されました。

議長(鴻貫水作君)日程第三選挙管理委員会委員及び同  
補充員の選挙下議題といつてます。

おはつています。選挙の方法はいかやうな方法により  
ますか。御意見下さい。

三三 泰山口 幸三君議事進行について動議を提出いたします。  
なにより議題としております選挙管理委員会及び同補充  
員の選挙に関しましては昨年十一月二日の全員協議  
会と選挙委員会においてその選挙方針としてあります。



ので選挙の方法は諸般の手続下省署にて地方自治法第  
一一八条第三項の規定により指名推選の方法によられたい  
と可相指名者は総務委員会へ委員長より指名していい  
べくことになりつゝないという勸議を議会運営協議会より代表  
して提せいらす。よろしく情場の御賛成を賜います

議長(鳩貫水作君)はいいま三番議員君の勸議に御里々議じたい  
うせんか、

(里々議「う」と呼ぶ者あり)

議長(鳩貫水作君)里々議「う」と認めます

よて選挙は指名推選の方法によることになりつゝ、  
可相指名者は総務委員会委員長に決定されつゝ、  
これより総務委員会委員長へ指名を求めます

(一六番議員遠山ヨネ子君登壇)



二大番(遠山ヨネ子君)御指名によりまして、ハッハイ議題となつております選挙管理委員会の委員並びに同補充員の会下地者として指名申し上げます。

昨年三月二〇日開催の全員協議会におきまして後任の選挙管理委員及び同補充員の選挙おろつた私ども総務委員会に御託下いいただきでありましたが本年は多岐来年度にわたり行われます各種の重要選挙に迎へるに当りまして最適任者として御推選申し上げようということと慎重に選挙会議下行し、まことに委員にまつまうてはもはや選挙も間近くまわめて重なるであります。鈴木紀氏、小柴義孝氏、加藤清太郎、藤田正氏、四人の方々の留任下願い、選挙と啓発に万全下期にいたることにかりました。



補充員につまりてはよくなく人材下得る考えから  
藤森正彦氏 本田兼吉氏 本橋喜太郎氏 小島頼  
母氏の四人。方にお頼い申し上げます。その順位は  
一番藤森氏 二番本田氏、三番本橋氏 四番小島氏と  
いうふうに決定してみたいと思います。従って  
本会議におましますでも以て申し上げます。通り  
今の手元に配付の指名表により御指名いります。  
つぎ全員の御賛成下さいます。ようお願いします。  
議長(鴻貫壮作君) いいえ、総務委員会委員長より指  
名があります。一通りおのく下選挙管理委員及  
び同補充員の当選者といひます。すこしく御翌議  
ありますせんか。

(「翌議」と呼ぶ者あり)

議長(鴻貫壮作君) 翌議と認めます。



よつて決定するに

議長(鴻貫壯作君)日程第四臨時に納検査之会議員の  
互選下議題といたす

おはついでます。之今議員の教及び任期、互選  
の方法は従来例によりますことに御豊議ありとせん  
か。

(「豊議」)と呼ぶ者あり

議長鴻貫壯作君)豊議と認めます。

よつて之今議員の教は四人任期は一回のことに終り互選  
の方法は自治法第二一八条第二項の規定により指名  
推選にすることに決します。

重ねておはついでます。指名の方法は議長に  
いて指名することにいたすと思ひます。これに御



里議ありませんか、

(「里議」——と呼ぶ者あり)

議長(鴻貫壮作君) 里議——と認めます。

よって議長において指名するに決しました。

これより指名いたします。一番議員山本昇一君。二

番議員吉田辰雄君。三番議員鈴木孝君。三六

番議員山口康君。以上四名。二月実施の臨時出納

検査のとき全議員の当選<sup>人</sup>と定めます。即ち里議あり

ませんか。

(「里議」——と呼ぶ者あり)

議長(鴻貫壮作君) 里議——と認めます。

よって決定しました。

本日の議事は全部議了いたしました。

これにて閉会いたします。



午後三時四十分開會

昭和三十一年一月三十一日

右會議次第下録し、署名す

館山市議會議長

伊藤 北

同 署名議員

佐野 信

同

北山 茂雄



